

2019年12月9日

各 位

大和自動車交通株式会社

神戸市におけるローカル MaaS の実証実験について

～地域主体の移動サービスのエコシステムづくりの検証に参画～

大和自動車交通株式会社(代表取締役社長:前島忻治、以下「大和自動車交通」)は、株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎勝教、以下「日本総研」)が主催する「まちなか自動移動サービス(※1)事業構想コンソーシアム」(以下「まちなかコンソーシアム(※2)」)において、住宅地内外の移動をサポートするサービス(以下「まちなか自動移動サービス」)の実証実験(以下「本サービス実証」)に参画します。本サービス実証は、2019年12月9日(月)から2020年2月7日(金)まで、神戸市北区の住宅地で実施する予定です。

本サービス実証では、オンデマンドによる住宅地内限定の近隣移動サービスのほか、住宅地から離れた病院やショッピングセンター等へは、会員制のポータルサイトから募った同乗者とタクシーを共同利用する仕組みを組み合わせることで、住民の移動ニーズに幅広く応えます。これら新たな移動サービスの需要・受容性をはじめ、移動サービス以外の収益源のあり方も含め、地域が主体的に運営する「ローカル MaaS」としての事業性と実現可能性を検討します。

大和自動車交通は、本サービス実証に準備段階から参画しており、実証期間中に会員制のポータルサイトを通じて募った同乗者とタクシーを共同利用するアプリケーションを国土交通省「新モビリティサービス推進事業」の一環で開発しています。本アプリケーションは、会員間で同じ出発地から目的地に向かう同乗者を募集し、応募が募集人数を満たしたらタクシーを電話で呼び同乗者とともに利用できる仕組みとしています。会員同士が料金を同乗者間で均等割することで料金負担を軽減、タクシー需要の掘り起こしにつながると考えております。

現在、タクシーはほかの交通機関と比較して割高感などがあり、特に地方では輸送人員の減少が続いています。本アプリケーションを地域のハイヤー・タクシー事業者、国や自治体および地域の自治会や住民の皆さんと連携しながら開発を進めることで、ハイヤー・タクシー業界全体の発展に貢献するものと考えています。

本サービス実証を通じて得た経験、課題やノウハウなどは、本コンソーシアムの協力会員である神戸空港タクシー株式会社(代表取締役:東裕子)と共に地元のハイヤー・タクシー業界に向けて情報共有し、自動運転時代のハイヤー・タクシー事業者のあり方について検討して参ります。

大和自動車交通は、2018年5月に全国で初めてハイヤー・タクシー事業者が実施主体となる「自動運転移動サービス公道実証実験」を東京都江東区猿江の公道で実施しました(※3)。また、2018年度から、まちなかコンソーシアムに参加してローカル MaaS や自動運転技術を活用した移動サービスの実装を共に目指しております(※4)。この他にも、大学機関と連携しながら全国各地で自動運転実証プロジェクトに参画し、経験を積んだ自動運転車両ドライバーの派遣等に取り組んできました。

大和自動車交通は、ローカル MaaS や自動運転技術を活用した移動サービスの検討は、乗務員の心身への影響や働き方の多様化についての研究を推進し、乗務員の負担軽減や健康的な働き方の実現につながるものと考え、今後も取り組みを継続していきます。

■本サービス実証の内容

(1)実施概要

- ・実施場所： 神戸市北区筑紫が丘、広陵町、小倉台および桜森町の町内
- ・実施期間： 2019年12月9日(月)～2020年2月7日(金) (運休日有)
- ・実施主体： まちなかコンソーシアム(主催： 日本総研)
- ・現場統括者： 神戸自動走行研究会(代表： みなと観光バス株式会社)(※5)

1. 住宅地内の移動サービス

- ・運行時間： 8:30～19:30 (運営状況を踏まえ、変更の可能性あり)
- ・利用対象者： 神戸市北区筑紫が丘、広陵町、小倉台、桜森町の住民(事前登録制)
- ・運賃： 無料
- ・車両： 借り上げのタクシー車両
普通乗用車(軽自動車を改造したもの)
電動の軽自動車
- ・最高速度： 時速 20 キロメートル
- ・乗合可能人数： 借り上げのタクシー車両： 4名(運転手除く)
普通乗用車： 5名(運転手除く)
電動の軽自動車： 3名(運転手除く)
- ・利用方法等 車両の呼び出しや現在位置確認は会員制のポータルサイトから行う。
(車両の呼び出しについては電話でも利用可能)

2. タクシー共同利用

- ・サービス時間： 8:30～17:00 (運営状況を踏まえ、変更の可能性あり)
- ・利用対象者： 神戸市北区筑紫が丘、広陵町、小倉台、桜森町の住民(事前登録制)
- ・運賃： 有料(会員制のポータルサイト上で募集した同乗者間で料金を均等割りすることで、一人当たりの負担を下げる仕組みです)

※本サービス実証は、近畿運輸局の指導の下で行います。

※本サービス実証に用いる会員制のポータルサイトの開発には、国土交通省「新モビリティサービス推進事業費」を活用しています。

(2)実証内容

本サービス実証で実証する内容は以下のとおりです。

1. 近隣移動サービスの需要と受容性

オンデマンドによる住宅地内の移動サービスについて、運行方法、ルート、適正な料金等、サービスのあり方を検証します。また、運営には筑紫が丘・広陵町・小倉台・桜森町の各自治会の協力や地域住民の参画を得ながら、地域が主体的に運営することの実現可能性を検証します。

2. タクシー共同利用機能の需要と受容性

近隣移動サービスや既存の路線バスでは行けない、住宅地から離れた場所への移動手段として用意します。会員制のポータルサイトで同乗者を募って待ち合わせて乗る方式ですが、この方式に対する需要と受容性を検証します。

3. ポータルサイトの使い勝手と機能

既存バス路線の現在位置情報確認、近隣移動サービスの予約と現在位置確認、タクシー共同利用の呼びかけを行う会員制のポータルサイトについて、機能や使い勝手を検証します(ただし本サービス実証では、スマートフォンやパソコンなど電子機器を持たない方向けに、電話でも車両の予約を可能としています)。

4. 車内広告・コミュニケーション機能

普通乗用車内に設置されたディスプレイで広告やニュースを配信し、効果を検証します。

5. 送客効果

近隣移動サービスまたはタクシー共同利用を利用して訪れた店舗での購買履歴を蓄積し、送客効果を検証します。

6. データの管理と共有方法

まちなか自動移動サービスの利用に伴い発生する移動履歴等の個人データは、利用者本人の帰属とし、クラウド上の個人フォルダに格納します。本人から同意を得た事業者のみこれら個人データにアクセスできるようにすることで、データ利活用の様々な可能性を検討します。

■ルートと乗降ポイント

近隣移動サービスについては、住宅地内限定で、下記地図にある通り、予め決められたルート以外は走行しません。走行ルートは、住民の方々の要望と自治会でのヒアリングを経て決め、道路の状況や隣接する乗降ポイントとの距離も考慮しながら、1～78の乗降ポイントを設定しています。

利用者は、会員制のポータルサイトにおいて、この地図上の乗車ポイントと降車ポイントの両方を指定して車両を呼び出します(電話での利用も可能)。予め決められた走行ルートのうち、どのルートをどの順序で走行するかは、乗合の状況も踏まえながら、配車システムが最も効率的な道順をアルゴリズムに基づき算出し、運転手に伝えます。

タクシー共同利用は、下記地図で示された2km四方のエリア外へ行く際に利用します。タクシー共同利用で行ける範囲は4km四方を目途に設定しています。



Google Map を利用

(※1)まちなか自動移動サービス

住宅地内の店舗や公共施設、病院、バス停等までの、いわゆるラスト&ファーストマイルの移動サービスを軸に、タクシーの共同利用等、地域の公共交通も活用しながら、地域のモビリティを高めるサービスです。移動サービスを通じて取得される各種データを活用し、公共交通とのシームレスな乗り継ぎや店舗への販促支援、住民への情報配信などの付加価値サービスも提供します。

まちなか自動移動サービスは、移動サービスや各種サービスの提供を通じて、住宅地としての機能を高め、人の往来を増やして地域を活性化する“ローカル MaaS”のモデルとなることを目指しています。

まちなか自動移動サービスは、自動運転技術の進展動向を踏まえ、まずは手動運転でのサービス実装を進め、段階的に自動運転化を進める計画です。

(※2)まちなか自動移動サービス事業構想コンソーシアム

まちなか自動移動サービスを持続可能にするための事業構想を目的に、2018年に日本総研が設立した、産官学民によるコンソーシアムです。自治会、自治体を含む産官学民が連携して、まちなか自動移動サービスの社会実装に必要なシステムの仕様や事業仮説について検討します。

主催：株式会社日本総合研究所

一般会員：株式会社 IHI、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、沖電気工業株式会社、関西電力株式会社、ダイハツ工業株式会社、菱電商事株式会社

オブザーバー：一般財団法人日本自動車研究所

協力会員：神戸市、神戸市北区筑紫が丘自治会、神戸空港タクシー株式会社、大和自動車交通株式会社、名古屋大学、みなと観光バス株式会社

(五十音順)

まちなか自動移動サービス事業構想コンソーシアム設立について(2018年8月29日)

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=33228>

(※3)自動運転移動サービス公道実証実験

自動運転移動サービスの公道実証実験の実施について(2018年5月18日)

<https://www.daiwaj.com/news/2018/180518.pdf>

(※4)まちなかコンソーシアムに参加 新しい移動サービスの実証実験を実施

住宅地における自動移動サービスの実証実験の実施について(2018年12月14日)

<https://www.daiwaj.com/news/2018/181214.pdf>

(※5)神戸自動走行研究会

自動走行をはじめとした IoT の交通事業への導入をテーマとした、神戸市内の交通事業者による研究会です。少子高齢化のなかでの交通サービスのあり方や顕在化してきた運転手不足への対応などについて、ICT の活用による解決方法を研究しています。

発起企業：みなと観光バス株式会社(代表)、近畿タクシー株式会社 s

メンバー企業：有馬自動車株式会社、神戸空港タクシー株式会社、神戸電鉄株式会社、
神鉄タクシー株式会社

(五十音順)

【本件に関するお問い合わせ先】

大和自動車交通株式会社 営業室 松元 03-6757-7171